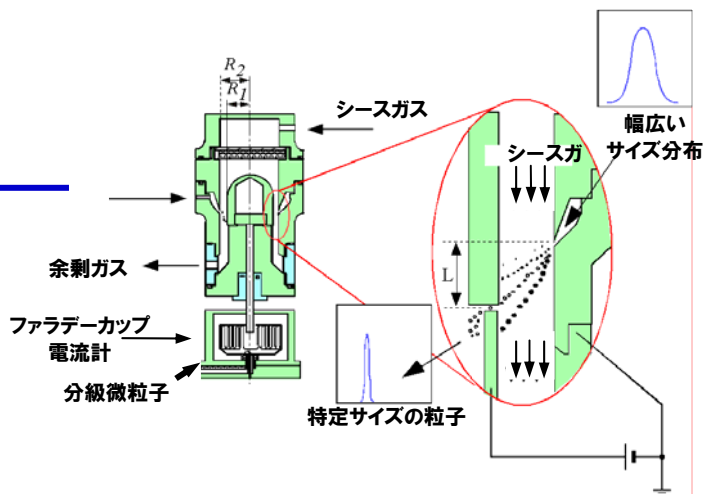


# 自動車排出ガスに含まれるナノサイズのPMの計測装置を開発 ワイコフ科学株式会社

## 開発の経緯

- 自動車排出ガスに含まれるナノサイズの粒子の有害性が問題となっており、各国で排出規制の導入が検討されています。
- 一方では、ナノ粒子を計測する装置の基準が確立していないことが排出規制の基準作りで大きな課題になっています。

### 【DMAを用いたナノ粒子のサイズ選別方法】



## 製品の特長

### <製品名:DMA(Differential Mobility Analyzers)>

- 気相中ナノ粒子の粒径測定が可能な唯一の方法であるDMA(微分型電気移動度測定装置)の技術を改良した高性能のDMAを開発しました。
- それを自動車排出ガスに含まれるナノサイズのPMの計測用に応用しました。

## 導入事例

- DMAはさまざまな製品に応用され、各種製品(ヘアドライヤーや大気中の物質の測定装置など)のナノサイズの物質の測定装置として導入されています。
- 自動車排出ガスに含まれるナノ粒子を計測するDMAも、自動車メーカー等で導入が進められるものと予測されます。
- DMAの量産化が進められており、あらゆる分野のナノ粒子の測定装置として導入されることが期待されています。

## 会社情報

企業名:ワイコフ科学株式会社

住所:東京都東久留米市学園町2-8-20

電話:0424-24-1806

資本金:100万円

事業概要:ナノ粒子・クラスターの計測機器の製造販売、応用技術及びナノ粒子・クラスター技術の研究開発

代表者:武内一夫

URL:<http://www.wyckoff.co.jp>

設立:平成15年6月2日

従業員数:7名

## SBIR補助金等概要

SBIR補助金等名:運輸分野における基礎的研究推進制度に係る委託費(平成15年度~18年度)

交付機関:独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 <http://www.jrtt.go.jp/>

採択テーマ:自動車排出ガスに含まれるナノサイズPMの生成過程とその計測に関する基礎的研究